

Backcountry Access, Inc.
2820 Wilderness Place, Unit H
Boulder, Colorado USA
Phone: 303.417.1345
www.backcountryaccess.com

BCA / (株) K2 ジャパン

〒101-0032
東京都千代田区岩本町1-10-5
TMMビル6F
TEL: 03-5809-1904
FAX: 03-5809-1977

販売店様印



TRACKER4™
TRACKER3™
TRACKER_S™

取扱説明書

図 A: Tracker 3

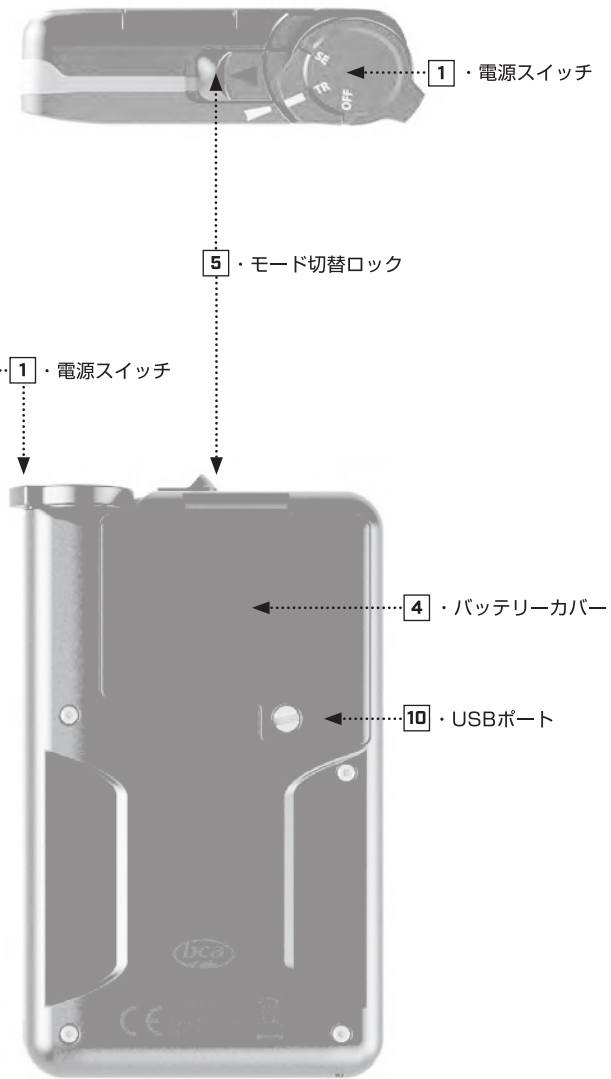
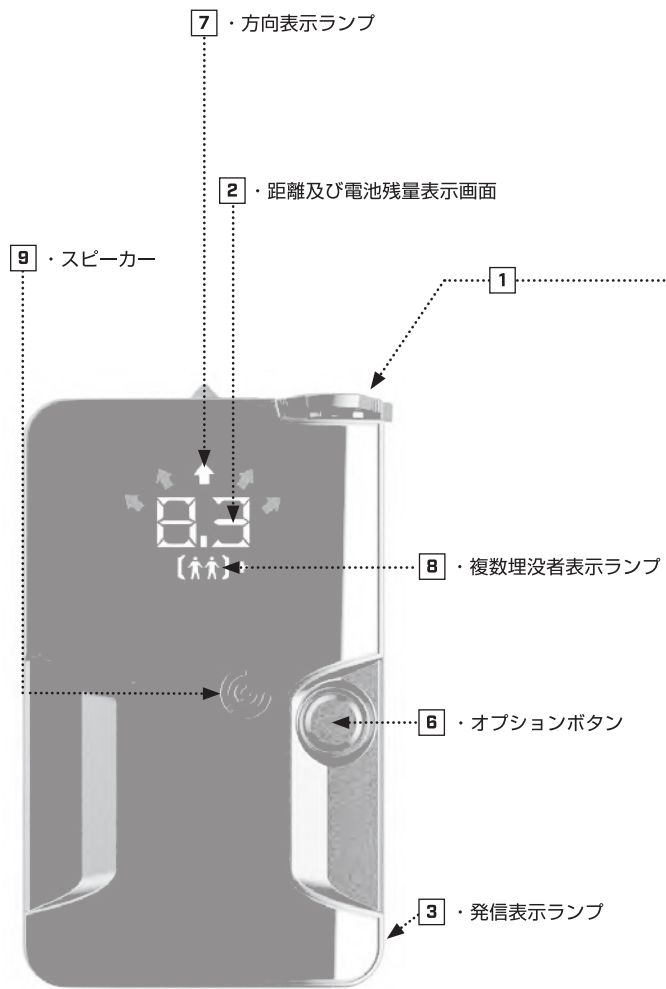
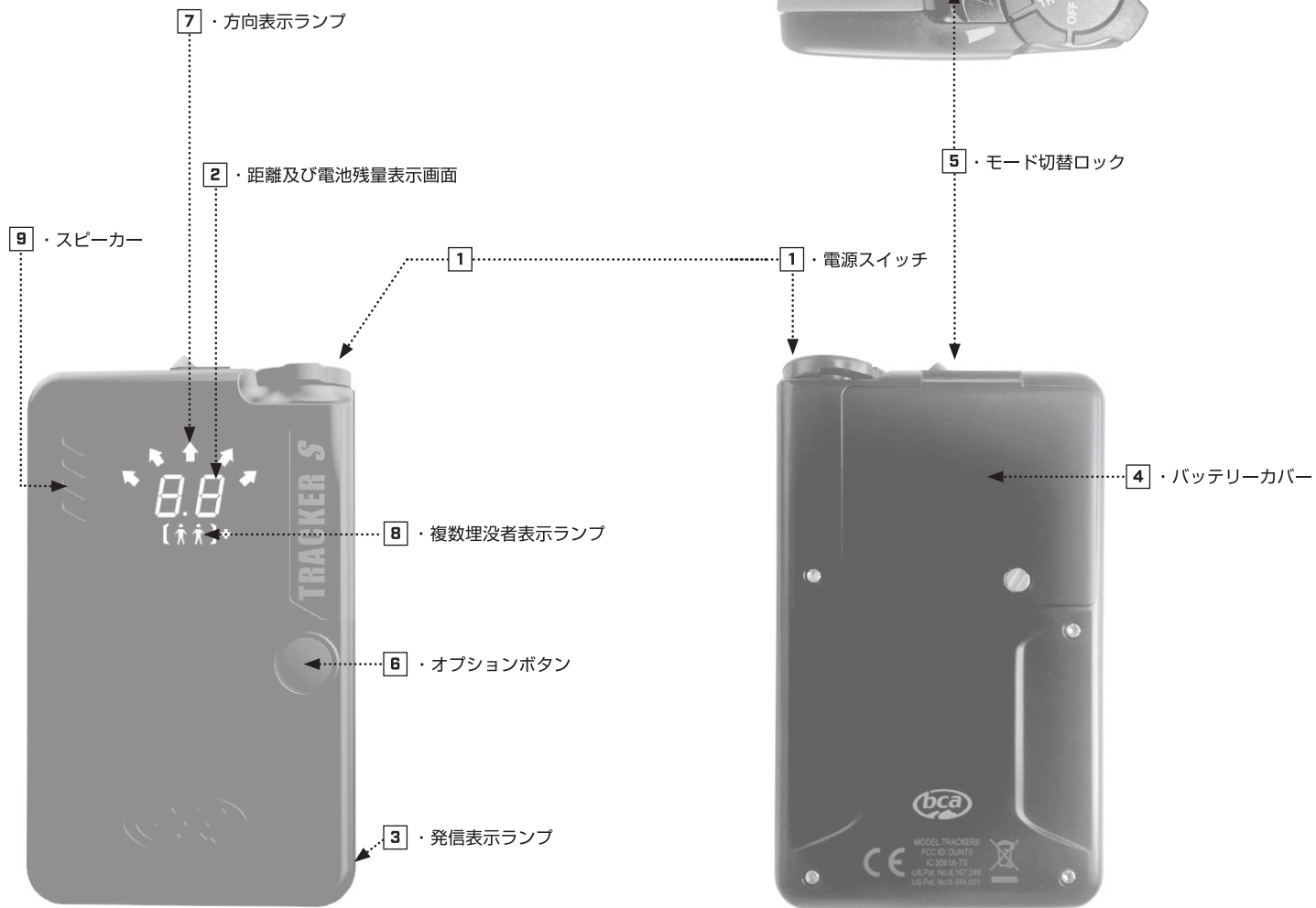


図 A: Tracker S



基本注意事項

アバランチ・ビーコンは十分に訓練をつんだ人が使わなければ生命を救うことはできません。バックカントリーへ行く前に Tracker でよく練習を行ってください。雪崩危険評価、ルート選択、自己救出の技術を訓練してください。常にアバランチ・ビーコンに加え、プローブ、ショベルも携帯しましょう。また雪崩救難用エアバッグやトランシーバー等の使用もお勧め致します。

バックカントリーに出発する前にはすべての装備確認を行い、適切に機能しているかを確認してください。Tracker をご使用になる時は毎回作動テストをしてください。間違いなく送受信が行われているか、最低 20m の距離で信号を受信しているか確認してください。

捜索時には、携帯電話、無線機、GPS 機器、デジタルカメラ、その他の電子機器を Tracker から 50cm 以内に近づけないで下さい。受信モードでは、送電線、雷、発電機等の電氣的干渉が原因で不規則な表示や受信感度を弱めたり、複数埋没表示に影響を与えることがあります。また、送信モードでは Tracker を他の電子機器から最低 20cm の距離を保ってください。電池は必ず同じブランドの、同じ残量のあるアルカリ電池をご使用ください。充填式電池、リチウム、NiOx 電池等は使用しないでください。

この取扱説明書は Tracker を有効に使用する上での基本的なテクニックを紹介しています。効率の良いトレーニングの為にウェブサイトをご参照ください。

www.backcountryaccess.com.

また、我々のウェブサイトでは雪崩教育や各地の雪崩の最新情報を入手することができます。

すべての BCA アバランチ・ビーコンの耐用年数は 5 年です。3 シーズン終了後は BCA サービスセンターへ返却してサービスを受けることをお勧めします。このサービスではビーコンは必要に応じて更新および調整され、最高の動作パフォーマンスを保証します。夏の間にビーコンを送付することをお勧めします。サービスセンターをお探しの場合はカスタマーサービスにお問い合わせください。

EN 300 718 の R&TTE 整合バージョンに準拠し、3.1、3.2、3.3 の条項を満たします。

雪崩への知識

ここでは雪崩の危険性や意識について基本的な紹介を致します。

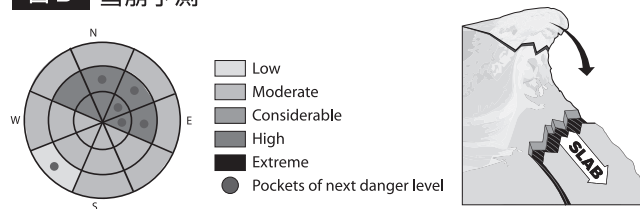
このマニュアルをよく読んでください。ウェブサイトではこの説明書以外の情報も参照することができます。バックカントリーへ出発する前に予定エリアの雪崩状況の情報を得ることを強く提案いたします。

U.S. www.avalanche.org

Canada www.avalanche.ca

Europe www.lawinen.org

図 B 雪崩予測



現地雪崩予測センターからの速報はルート計画を立てる際に雪崩の危険を避ける為に有効です。

雪崩への知識

まず初めに全員が作動するビーコン、プローブ、ショベルを所持していること。使用方法を身につけていることを確認してください。さらに雪崩救難エアバッグや送受信無線のようなグループコミュニケーション機器の使用を推奨致します。

雪崩地形を理解するために

- その斜面は過去に雪崩が起きたことがありますか？
- 斜面のどの角度と方位でしたか？
- 直近の天候は雪の安定性に影響ありますか？

雪崩地形を避けるために

- 最近雪崩が発生していますか？
- 斜面の角度は 30-40 度の間ですか？
- 滑走斜面に危険な場所はありますか？（岩、木、溝、崖など）

思慮深い仲間との行動：

- 危険を含む地形は一人ずつ横切りましょう。
- 安全なゾーンを見極め、そこで止まる訓練を心がけましょう。
- 斜面が雪崩れた場合の避難ルートを常に心構えしておきましょう。
- 斜面を滑走する前にパートナーと協議しあいましょう。

グループ行動での典型的な失敗に注意：

- 以前に滑走したことがあるが雪崩発生がなく、安全性に自信があると思っているエリアに立ち入る時。
- 進路や斜面に対して意見がぶつかることを恐れて話し合わない時。
- グループの行動力を過信した時。
- 滑走地帯やコンディションを再確認しないまま、目的地に向かってしまう事。

もし迷ったときは、疑わしい地形を避け、安定した雪面に戻ることが一番です。

雪崩に遭遇した場合：

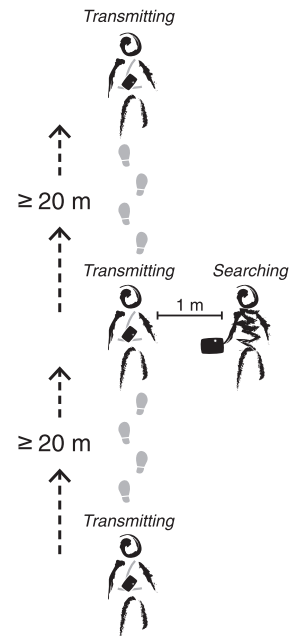
- “雪崩だ”と叫び、腕を振りグループに警告しましょう。
- 雪崩救難エアバッグを持っていれば速やかに展開しましょう。
- 木や岩をつかんだり、脇に向かい“泳ぐ”ことにより雪崩の斜面から逃れるようにしましょう。
- 気道を確保しましょう。
- 雪崩の速度がゆっくりとなってきたと感じたら、発見されやすくする為に片手を上に突き出しましょう。
- もう片方の手は空気を取り込むスペースを増やすために顔の前に置きましょう。
- 冷静になってゆっくり呼吸をして、空気を浪費しないようにしましょう。

遭難者を捜索するために：

- 助けを求めに行かない。あなただけが遭難者生存の唯一のチャンスです。
- 最後の目撃地点を確保する。(目印など)
- 自分に第2雪崩の危険がないことを確認してください。
- 遭難者の地点に至る視覚的な手がかりを探しましょう。
- ビーコンを使って遭難者の送信電波を探しましょう。

適切な送信および捜索機能を確保するために、ツアーを開始する前に必ず出発前テストを実行してください(図C)。1人は20メートル離れて歩き、他の人が自分の信号を検出できることを確認してください。次に、残りのグループは送信モードに切り替え、リーダーに向かって歩きます。リーダーはそれぞれ20メートル離れたところから信号を検出できることを確認する必要があります。リーダーは、テストが完了した後、常に送信モードに切り替える必要があります。

図 C



慣れないグループでツアーに行く場合、「機能テスト」を実行してすべてのユーザーがバッテリーの確認方法とモードの切り替え方法を理解していることを確認することをお勧めします。

機能テストと出発前テストの詳細については
www.backcountryaccess.com/videos、へアクセスしてください。

Tracker をお買い上げ頂きありがとうございます。非常に使いやすいのが特徴です。

あくまでもビーコンサーチは雪崩救助のプロセスの一部に過ぎません。この説明書で後述するブロープやショベルで技術を習得することも同様に重要です。ビーコンサーチ、ブロープ、戦略的なショベル技術のトレーニングビデオは、以下のサイトをご覧ください。www.backcountryaccess.com/education

発信モード：Tracker の上部、矢印の方向にスライディング・ロック [5] を引きながらダイヤルスイッチ [1] を「OFF」から発信「TR」の位置に回します。(図 D 参照)

図 D

上から見た
Tracker



バッテリー残量は、バッテリー残量 / 距離の順でディスプレイ [2] に表示されます。

Tracker3 と Tracker S ではバッテリー残量は、バッテリー残量 / 距離の順で表示されます。(図 A 参照) Tracker4 はバッテリー残量の % 表示とさらに右上隅にバッテリーマークが表示されます。

注意：バッテリー残量はおおよそのものです。40% に到達する前に電池 [4] を交換してください。発信「TR」モード時、Tracker はスライディング・ロックをひかないとオフまたはサーチ「SE」に回すことはできません。



サーチモード：スライディング・ロック [5] を引きながら、サーチ「SE」の位置にダイヤルスイッチを回します。サーチ「SE」モードでは、ディスプレイは信号が検出されるまでに定期的に「SE」を点滅します。発見信号を検出すると、Tracker は距離と方向の測定値を表示開始します。2m 以下の距離では方向表示ランプは点灯しません。

発信「TR」モードに戻る：サーチモードでは発信「TR」モードに戻るためにスライディング・ロックを動かす必要がありません。単に発信「TR」位置にダイヤルスイッチを回すだけです。発信開始前に、ディスプレイは「TR」を点滅しビープ音が鳴ります。

サーチ「SE」モードのまま 30 分経つと 2 分毎にビープ音になります。発信「TR」モードのまま 12 時間経つと 2 分毎にビープ音になります。この音はユーザーが入力操作をしないまま、ずっと Tracker がオンになっていることを通知しています。



オートリバート（自動復帰）モード：オートリバートモード「Ar」では、探索者が検索モードのまま一定時間経過すると、自動で発信モードに切り替わります。

・Tracker S では検索モードで 5 分以上経つと、自動で発信モードに切り替わります。

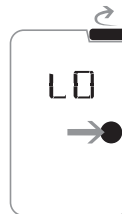
・Tracker3 と Tracker4 ではオートリバートに加速度センサーを使用しています。動きがない状態が 1 分続くとビーコンは自動で発信モードに切り替わります。加速度センサーが一定の動きを検出

すると補助的に 5 分間のタイマーが入り、5 分以上経つと自動で発信モードに切り替わります。

ビーコンが発信モードへ戻る 30 秒前からアラームが鳴ります。警告音を止めるためには、①サーチモード時に切り替えるか②アラームの鳴っている 30 秒の間にオプションボタンを押すか、スイッチを「TR」にしない場合には自動的に発信モードに戻った後も鳴り続けます。

オートリバートモードを有効にするにはオプションボタンを押しながらサーチ「SE」まで回して電源をオンにします。ディスプレイに「Ar」が表示されるまでオプションボタンを押し続けてください。

「Ar」が表示される前に、「TS」、「r.c.」（ソフトウェアバージョン番号付き）およびバッテリーを残量%含むほかのシグナルが表示されます。オートリバートモード「Ar」を有効にしたい場合、電源をオンにする度に上記の操作をしてください。それ以外の場合は、サーチから発信モードへは手動の切り替えとなります。



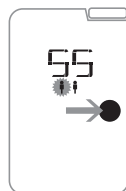
消音：サーチモードでは消音が出来ます。発信「TR」からサーチ「SE」モードへオプションボタンを押しながら切り替えをします。「LO」の文字がディスプレイに表示され、サーチ機能を補助する通常音を消します。



バッテリー残量警告：バッテリー残量が少なくなると「Lb」の文字が表示されます。この表示が出たときは、使用する前に電池を交換してください。通常のスタートアップが出来ないほど低すぎるバッテリー残量ではディスプレイに「Lb」が点滅します。

種類や残量の一致しない電池は様々な温度で不具合が生じ、ローバッテリーになると予想以上に早く消耗します。バッテリー残量表示ランプが 40% に達したら電池の交換をお勧めします。

注意：新しい電池と古い電池、または他のブランドを絶対に混ぜて使用しないでください。リチウム電池や充電式電池も使用しないでください。これらの使用は、不正確なバッテリー残量表示につながります。

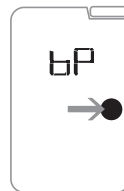


シグナル・スープレッション（信号抑制）：シグナル・スープレッションモード「SS」は一番強いシグナルを抑制し、捜索者に二番目に強いシグナルを方向矢印にて示します。一番目の発信をサーチする時は、常に標準のサーチ「SE」モードにします。一番目の遭難者が発見されて場所の特定が完了して初めて次のシグナル・スープレッションの準備が整います。

シグナル・スープレッションモードはディスプレイに「SS」が表示されるまでオプションボタンを押し続けると作動します。スープレッションモードに入るには「BP」が表示される前にオプションボタンを放さなければいけません。「SS」モード時には、複数遭難者のアイコンは交互に点滅します。

一番強いシグナルの抑制は 1 分間続き、捜索者に抑制されてシグナルから離れる時間を与え、次の発信を受信します。Tracker は 1 分後スープレッションモードから標準のサーチモードへ自動的に戻ります。この場合、複数遭難者アイコンは点滅が止まり、最も強いシグナルを特定します。

注意：シグナル・スープレッションは古いアナログのビーコンの抑制には反応しづらい可能性があります。



ビッグピクチャー（全体像）：ビッグピクチャーモード「BP」は、デジタルビーコンの世界でアナログビーコンに最も近い使いかたです。範囲内で発信されるすべてのビーコンの距離と方向を表示します。ビッグピクチャーモードを使用すると、サーチエリアでビーコンがいくつあるかおおよその方向と共に推定することができます。「BP」モードでもサーチは出来ませんが、ピンポイントサーチで遭難者に近づいた時は標準のモードでファインサーチを行うことを忘れないでください。

ビッグピクチャーモードはディスプレイの「BP」が点滅するまでオプションボタンを押した状態で作動します。「BP」モードを使用する時は、オプションボタンを押し続けなければいけません。オプションボタンを放すと Tracker は自動的にサーチモードに戻り、一番強いシグナルを特定します。

注意：SS モードから BP モード（またはその逆）に切り替えるときは、最初に SE モードに戻る必要があります。

Tracker ソフトウェア更新プログラムのダウンロード：

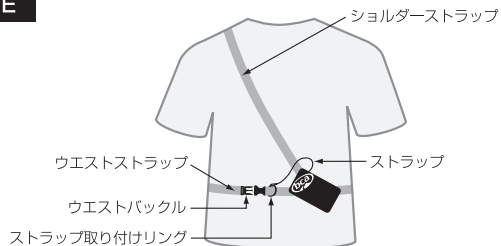
BCA ソフトウェアを使用し、Tracker のプログラミングを更新することができます。現在、PC (Mac 不可) のみで可能です。※ Tracker S にこの機能はありません。以下の手順で更新します。

1. backcountryaccess.com/downloads; に移動。
2. Tracker 更新プログラムをダウンロード。
3. インストールし、プログラムを開始。
4. 標準の USB ケーブルでコンピューターに Tracker を接続。
(Tracker3 には Mini USB / Tracker4 には USB C)
5. 更新プログラムを開き、指示に従ってください。

装着調整

Tracker はハーネスを付けた状態、あるいは取り外した状態でも使用可能です。ハーネスを身につける場合、Tracker は下記図 E のようにアウターウェアの内側に取り付けてください。

図 E



距離、方向表示ディスプレイ側をご自身の体の方に向けて、送信ライトが自分から見えるように装着してください。

搜索時には、ハーネス収納ケースから取り出し、ハーネスは身に着けたままストラップを取り付けた状態にします。もし、ハーネスなしで使用する場合には、Tracker を安全なポケットに入れてください。できればズボンなど、バックカントリーで行動している間は他の衣類の密閉されたポケットに入れておくこと。ストラップクリップをジッパーや固定された物に取り付けてください。搜索時にハーネスや衣類からストラップを外す場合は、手首にストラップをループ状に巻き付けてください。

電源

Tracker は単 4 電池 3 本で起動します。同じブランド、同じ残量の高品質のアルカリ電池をご使用ください。充電式電池、リチウム電池、オキシライド乾電池、NiOx 電池又はその他アルカリ電池以外の電池は使用しないでください。毎年シーズン初めには新しい電池に交換してください。

Tracker を高湿度の中で使用した場合、バッテリーボックス[4]のふたを開け、内部を完全に乾かしてください。接続部の腐食を防ぐためにも、使用しない期間はバッテリーを抜いておきましょう。バッテリーの腐食による故障は保証の対象外となります。

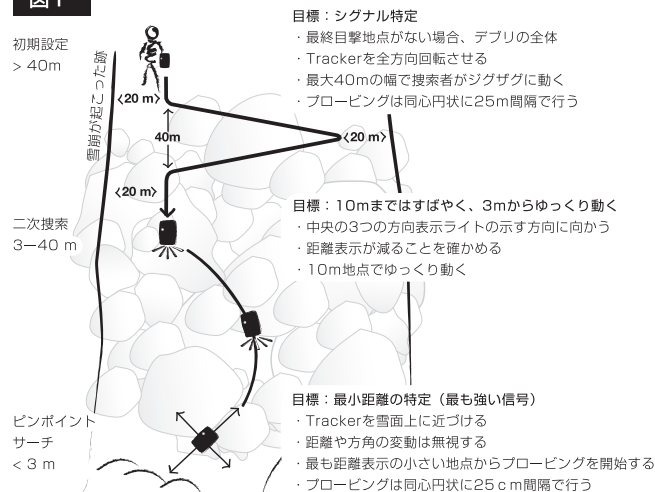
探索方法

Tracker は国際標準周波数である 457kHz を採用し、同基準の発信機と互換性があります。

搜索モードの時、Tracker を最低 50cm 携帯電話やビデオカメラなどの電子機器から話してください。もし可能であればすべての電子機器の電源を切ってください。

搜索には 4 つのプロセスがあります。初期搜索、二次搜索、ピンポイントサーチ、そしてプロービングで位置を確定することです。(図 F)

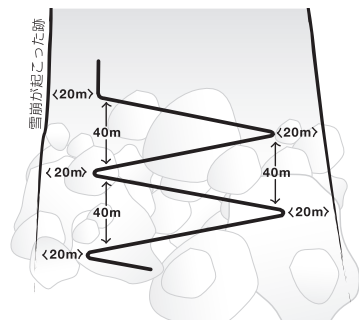
図 F



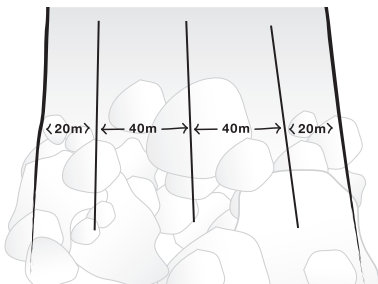
初期搜索：初期搜索とは搜索パターンを決定し、信号をキャッチする過程の事です。搜索パターンは遭難者が最後に目撃された地点、雪崩の規模と搜索者の人数により決まります。図 G を参考に初期搜索パターンを決定してください。もし雪崩の幅が 40m 未満ならば初期搜索は雪崩の方向に沿って真ん中を真っすぐに上下してください。もし遭難者が最後に目撃された地点が確定できるのであれば、初期搜索はその地点から雪崩の崩れた方向に向かって進みます。

図 G

探索者が 1 人の場合（雪崩の幅が 40m より広い場合）



探索者が複数の場合（雪崩の幅が 40m より広い場合）



もし雪崩の幅が 40m 以上で、最終目撃地点がない場合はジグザクパターンで雪崩の起こった全エリアをカバーしてください（図 G）。もし複数の探索者がいる場合は、雪崩の端から 20m 以内で、探索者間は 40m を超えないようにしてください。

初期探索に先立ち、全発信機を探索モードに切り替えてあることを確認してください。初期操作パターンに沿って移動しながら、Tracker を（図 G）のようにゆっくり水平面で回転させます。探索時には雪面上に遭難者の装備品や突出物などの物理的の手がかりにも注意しましょう。信号が検知されない間は、距離表示画面に“SE”と点滅します。継続的に信号を検出したら、その地点に目印をつけ二次探索へ移ります。

図 H

Tracker を手の平に持ち、水平と上下にゆっくり動かします。但し初期探索の段階では素早く移動してください。強く確実な信号を受信するまで搜索経路から決して外れないでください。電氣的干渉によって起こる不規則な信号は無視してください。



二次探索：二次探索は、安定した信号を発見した地点から遭難者の近地点までの探索の一環です。

継続的に信号が検知されたら Tracker をゆっくりと水平に動かし、中央の方向表示ランプ (7) が点滅するように調整します。

すると、Tracker が最も強い信号の方向を示します。両側に分かれている 4 つの方向表示ランプによりどちらに Tracker を動かせば、中央の方向表示ランプが使えるようになるか理解することができます。距離表示画面 [2] にはどのくらい進まなければならないかおおよその距離をメートルで表示します。もし、距離表示の数値が上昇するようであればそれは遭難者の発する電波の軸を正反対の方向に進んでいることを示しています。180 度回転し、再び方向表示ランプを中央に戻し、その指し示す方向に進みましょう。静止している状態に関わらず、距離表示が目立って変化する場合他の探索者全員が探索モードになっているかどうか確認しましょう。

方向指示ランプを追っていると、そのルートが弧を描いていることに気が付くかもしれません。Tracker はビーコンから発信された電磁曲線（フラックスライン）に沿って誘導しているからです。距離表示画面の距離はこの曲線に沿う移動すべき距離であり、遭難者までの直線距離ではありません。

ピンポイントサーチ：歩きながら雪面に接するようにビーコンを近づけて行く最終段階のビーコンサーチを指します。ピンポイントサーチは信号が最も強い地点を特定し（距離一番近い）、ブローピングエリアを限定します。

ピンポイントサーチでは距離表示が3mになったところから雪面に沿ってゆっくりと真つすぐ前後に動かしてください。最終の2m以内に入ったところで方向表示ランプは点灯しなくなるので距離表示に注意してください。最小値を示した場所になったところで左右に直角方向に動

かし、より小さい値を見つけてください。（図I）必要であれば左右前後、両軸方向を繰り返してください。最も距離表示の小さい地点からブローピングを開始します。

ブローピング

最も低い距離表示を示した地点を起点に同心円状に25cm間隔でブローピングを始めてください。（図J）ブロープは斜面の雪に対して垂直に差し込んでください。埋没者の位置を確認できたら、そのままブロープを雪面に刺した状態にします。

図 J

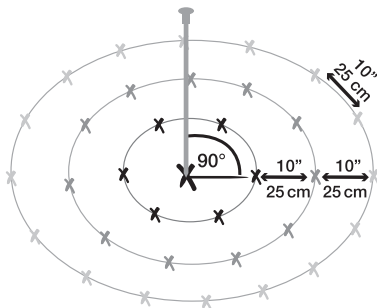
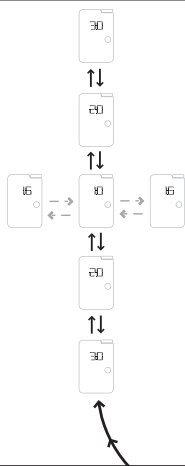


図 I

ブラケット：最も小さい距離表示まで進んでください。ブラケット中は、2m以内の方向指示ランプは無視してください。この行程では距離表示が変わる為、ビーコンを回転させないでください。



ショベリング

ショベリングは雪崩レスキューの大部分の時間を費やす困難な作業です。最高の結果を得るにはブロープの谷側の、一段下の下方斜面を掘り始めます（図K）穴の幅が、少なくとも両手を広げた分の幅があることを確認してください。十分な人員がいる場合、埋没深度が1m以下では、1人がブロープの近くを他の人と下方斜面で掘り、穴周辺の雪を取り除く必要があります。

図 K



複数埋没者検索

Trackerの受信範囲内に2人以上の埋没者がいるときに、複数埋没アイコン[8]が表示され続けます。（注意：このアイコンは時々旧式のアナログビーコンや他の電子ノイズを受けて表示されることがあります。）もし3人以上の遭難者が範囲内にいる場合は“+”アイコンが表示されます。

もし複数埋没者アイコンがTrackerの画面に現れかつ、あるいは方向や距離が2つ以上表示された時は、受信範囲内に埋没者がおそらく複数存在することになります。検索モードのまま最も近い距離に絞り込み中央のランプの信号に従って進んでください。

1つ目の信号が他より近くなった時にTrackerはその信号を固定し、他の信号を隠します。信号が特定されると、Trackerは1人の埋没検索時のビーコンサーチと同様に反応します。最初の埋没者を掘りだしたら、安全な状態を確認しそのビーコンのスイッチを切ってください。もしクリアな信号を受信しているならば次の埋没者の探索を始めてください。




もし最初の埋没者の発信機の電源が切れない場合、またショベリングを行う十分な人数がいる場合は、シグナル・スープレッション（信号抑制）を使って次のシグナルを特定することをお勧めします。

探索方法

複数埋没者特定：複雑な複数埋没者はレクリエーションの設定ではまれであり、通常は単一埋没者検索モードでの、1人埋没者検索を行います。複数埋没が本当に複雑になる可能性があるのは、最初の埋没者のトランシーバーをオフにすることができない場合、埋没者がお互いに接近している（10m以下）場合、または埋没者が3人以上いる場合です。

以下のアイコンは、埋没者の数が探索者の範囲内にあるかどうか、また彼らが互いに接近しているかどうかを判断するのに役立ちます。

			
範囲内に2人のシグナル	探索者の6m以内に2人のシグナル	範囲内に3人以上のシグナル	範囲内に3人以上のシグナルかつ、6m以内に少なくとも2つ

		
2つのシグナルが同時に点滅している場合：シグナル・スープレッションが機能していない状態。	2つのシグナルのどちらか1つが点滅している場合：シグナル・スープレッションが機能している状態。	シグナル・スープレッション使用時センターの方向指示ランプが点滅している：シグナルが重なっています。向かっている方向にそのまま移動し続けてください。

もし埋没者の発信機の電源が切れない場合、シグナル・スープレッションを使い次の埋没者を探してください。オプションボタン **6** を押してすぐに放します。“SS” がディスプレイに表示され、複数埋没者のアイコンが点滅します。次の埋没者の距離と方向に従ってください。最初の埋没者の信号は一分間抑制できることを覚えておいてください。そのとき複数埋没者を示すアイコンの点滅が消えるでしょう。1分が経過する前に通常の検索モードに戻すには、オプションボタンを押してください。

探索方法

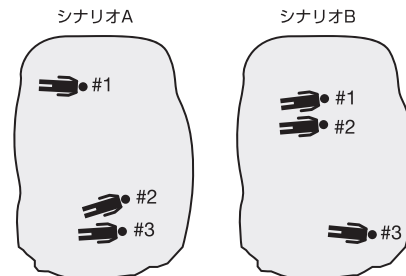
シグナル・スープレッション、マーキング、またその他単独のシグナルは、特に古いアナログトランシーバーを探索する場合、100%信用できるものではないことに注意することが重要です。これは、特に2つ以上の送信シグナルが範囲内にある場合、シグナルが重なる可能性があるからです。それらの不正確な送信シグナルによって、アナログトランシーバーは稀に複数埋没者表示を点滅させる可能性があります。これらの理由により、以下ウェブサイトで説明しているバックアップテクニックを学ぶことが重要です。www.backcountryaccess.com/tracker-resources

ビッグピクチャーモードの使用：ビッグピクチャーモードは全体像を把握し、探索の効率を最適化するために使用できる貴重な機能です。探索の開始時、各埋没者のシグナルに探索者を割り当てるために使用することが可能です。範囲内で2つ以上のシグナルが関係する状況においても有効です。

Trackerは一度に1つのシグナルのみを抑制します。2つ目のシグナルを抑制すると、次に最も近いシグナルが表示されます。埋没者#3が埋没者#2に近い場合（以下のシナリオA）、埋没者#2を抑制すると、自動的に埋没者#3に移動します。しかし、埋没者#1が埋没者#3よりも近い場合（シナリオB）、Trackerはあなたを埋没者#1に戻します。このような場合は、ビッグピクチャーモードを使用して3番目のシグナルのおおよその方向を見つめます。3番目のシグナルに近づけた後、オプションボタンを放すとTrackerは自動的に3番目のシグナルを分離します。

図 1

Trackerは一度に1つのシグナルのみを抑制します。埋没者#2のシグナルを抑制するとき、埋没者#3が埋没者#2から埋没者#1より遠く離れている場合、ビッグピクチャーモードを使用して埋没者#3へ移動します。



この度は、当社の製品をお買い求めいただきありがとうございます。
下記の注意事項をよくお読みの上、ご愛用くださいますようお願い申し上げます。

保証内容

1. 保証期間

株式会社 K2 ジャパンの輸入する正規商品のみを対象とし、保証期間は御購入頂いてから5年間とします。
保証期間内に修理・交換をした場合において期間の延長はございません。

2. 保証の範囲

取扱説明書などの注意書に添った正常なご使用状態の元で、品質および製造上の欠陥により故障および損傷した場合。

- ・修理が可能な場合：無償修理
- ・修理が不可能な場合：同等品と無償交換

また保証は製品本体にのみ適用し、交通費、リフト代金、付属品等製品以外に関する費用は対象ではありません。

3. 保証期間でも次の故障・損傷の場合は有償とさせていただきます。

- ・使用上の誤り、不注意による損傷や故障の場合
- ・移動中の不備・事故などで損傷した場合
- ・ご自身の意図で改造・不当修理をした場合
- ・外的要因（火・熱・水など）による場合
- ・火災、地震、地変等による場合
- ・保管、運搬場の不備による場合
- ・製品をストーブ等熱によって変形・損傷した場合
- ・消耗品が摩耗もしくは損傷し交換を要する場合
- ・滑走中の転倒や衝突など過度の衝撃を受けた場合
- ・強度を超えた使用方法により損傷・故障が生じた場合
- ・色あせ、色落ちなど性能上支障をきたさない外装上の問題
- ・電池の液漏れによる故障。損傷
- ・本体にシリアル番号の記載がない場合
- ・保証書にお買い上げ店名、期日の記載、押印が無い場合
- ・保証書の掲示がない場合
- ・その他上記に準ずる場合

4. 保証請求の手続き

- ・保証が必要となった場合は保証書と製品と一緒に BCA 製品取扱販売店へお持ちください。
- ・なおその際の交通費、運送料などはお客様の御負担となりますのでご了承下さい。

5. 保証の方法

- ・修理可能、不可能の判断は弊社サービスセンターにて行います。
- ・保証の判定に関し、万が一お客様と弊社との間に見解の相違が生じた場合は弊社の判断を優先させていただきますのでご了承下さい。
- ・修理の際、カラーなどが異なる代替え部品を使用する場合がございますのでご了承下さい。
- ・交換するモデルおよびパーツは弊社に在庫が有る限りとさせていただきます。
- ・保証期間内に保証できない種類の損傷、または保証期間終了後の損傷については有償にてアフターサービスをさせていただきます。

6. お客様へのお願い

- ・この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ・この保証書は御本人以外使用できません。
- ・保証請求の申し立ては BCA 製品取扱販売店に限らせて頂きます。

保証書

ご購入日： 年 月 日	
販売店名（住所：店印）： ※お店でご記入をお願いします。	
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; display: inline-block;"><h1 style="color: red; margin: 0;">コピー不可</h1></div>	
モデル名：TRACKER 2	

商品の機能・性能に関するお問い合わせ先

株式会社 K2 ジャパン BCA 事業部

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMM ビル 6F

TEL: 03-5809-1904 FAX: 03-5809-1977

修理に関するお問い合わせ先

IS テクニカルサービスセンター

〒437-1425 静岡県掛川市浜野新田 208-2

TEL: 0537-64-5557 FAX: 0537-64-5559

